



県議会9月定例会始まる

26日午前11時から

初の一般質問を行います



2007年9月23日
 第11号
 発行
 日本共産党県議会議員
 渡辺ゆり子
 <連絡先>
 日本共産党県議団執務室
 電話 023-630-3241
 自宅：山形市青田2-10-5
 電話 023-642-2365

渡辺ゆり子県議の一般質問
 26日(水)午前11時からの予定です。
 乳幼児医療費支給制度拡充や、私学助成の課題、最上小国川ダム、置賜農業共済問題、その他について行います。

九月県議会は十九日 もので、同機構から四開会しましたが、二十億円借り受け、県既日議会運営委員会が開 存基金や特別会計から会され、日程が示され の拠出を合わせて総額るとともに、各会派に 五十二億円規模の基金に対する補正予算案の予 を造成するという内容算内示が行われました。 です。運用益を県内企業補助予算案では、霞 業の助成にあてるもの城公園内の県体育館・ で、年間の助成総額は武道館の耐震改修費な 八千万円、九千万円見どが計上されています。 込んでいます。その他、が、一番大きなものは 酒田市にある県立・市中小企業応援のための 立の病院の統合再編な新基金設立に関わる予 どの議案が審議されま算です。 ず。党県議団は、切実中小企業基盤整備機 各分野のみなさんの構の「中小企業応援フア 声を代弁して奮闘するンド事業」を活用する 決意です。

教組共闘が高校生・青年の雇用確保と修学保障を要請

十二日、教組共闘 北海道・東北プロツク(代表・菊地英行)宮城高教組委員長)の雇用確保と修学保障を求めるキャラバンが山形県に入り、県に要望書を手渡しました。
 参加した県内の全山形教職員組合、私学教職員組合らが、高校生の奨学金制度や授業料減免制度の充実、安定した雇用保障を申し入れ話し合いました。日本共産党県議団も同席しました。
 県は、教育委員会



映画「日本の青空」を見ました

十一日、「九条の会」 県連絡会が上映運動を展開している映画「日本の青空」を見る事ができました。中間選挙や市長選挙が行われ、一時はあきらめかけましたが、何とか時間をつくって足を運びました。内容は、日本国憲法の成立過程を当時の憲法研究者鈴木安蔵を軸にえがいています。アメリカ押しつけと言われている日本国憲法が、決してそうではなかったことが、戦前からの流れをくむ民間の様々な憲法草案提出にあらわれています。最も土台になったのが、鈴木安蔵らが準備した草案でした。堅い内容を現在の若い世代にも伝わるように工夫したあとが見えました。戦後の解放感やいきいきした民主化の流れが伝わってきて、現憲法の重みが一層感じられます。これからも様々な角度から憲法をめぐる学習や議論に参加したり、平和憲法を守り発展させる運動に取り組んでいきたいと思えます。

